

当月のS&P MLP 指数の動き

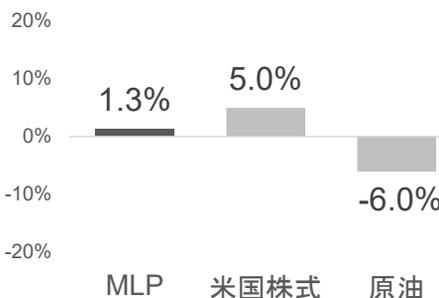
7月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+0.9%と3か月連続での上昇となりました。

9月の米利下げ観測の強まりや、米経済の軟着陸への期待などから、米国株式が上昇基調となる中、MLPは中旬過ぎまで上昇し、S&P MLP指数(米ドルベース/トータルリターン)が22日に最高値を更新しました。しかしながら、月末にかけては、原油先物が大きく値を下げたことに加え、米政権が対中半導体規制の強化を検討中との報道やハイテク企業の決算内容が嫌気され米国株式が下落したことなどから、MLPも下落基調となりました。

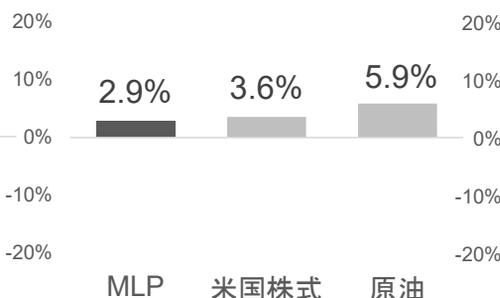
過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)

2024年5月



2024年6月



2024年7月



MLP: S&P MLP 指数、米国株式: S&P 500 種指数、原油: WTI

主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3か月前月末	前年末	前月末比	3か月前月末比	前年末比
	2024/7/31	2024/6/30	2024/4/30	2023/12/31			
S&P MLP 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	8,735.02	8,652.98	8,305.84	7,384.81	0.9%	5.2%	18.3%
プライスリターン	1,695.51	1,690.54	1,641.57	1,500.43	0.3%	3.3%	13.0%
S&P 500種 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	12,052.09	11,907.15	10,951.66	10,327.83	1.2%	10.0%	16.7%
プライスリターン	5,522.30	5,460.48	5,035.69	4,769.83	1.1%	9.7%	15.8%
S&P 500種 エネルギー株指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	1,608.23	1,574.98	1,601.74	1,419.77	2.1%	0.4%	13.3%
プライスリターン	712.42	698.23	714.95	640.05	2.0%	-0.4%	11.3%
S&P 米国 REIT 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	1,786.47	1,680.47	1,561.39	1,686.38	6.3%	14.4%	5.9%
プライスリターン	351.16	330.83	310.01	338.75	6.1%	13.3%	3.7%
米国ハイイールド債 (ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス (米ドルベース))							
トータルリターン	1,663.94	1,631.92	1,598.18	1,590.32	2.0%	4.1%	4.6%
プライスリターン	68.80	67.84	67.17	68.29	1.4%	2.4%	0.7%
米国10年国債利回り							
	4.03%	4.39%	4.68%	3.88%	-0.36	-0.65	0.15
原油 (WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	77.91	81.54	81.93	71.65	-4.5%	-4.9%	8.7%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	2.04	2.60	1.99	2.51	-21.7%	2.3%	-19.0%
米ドル (対円)							
	149.98	160.88	157.80	141.04	-6.8%	-5.0%	6.3%

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

当月の出来事いろいろ

- 1日、夏を迎えた米国でのガソリン需要の拡大が見込まれる一方、中東情勢が懸念されたことから、原油先物が上昇し、WTIが1バレル＝83.38米ドルと、約2ヵ月ぶりの高値を付けた。
- 5日に米国で発表された、6月の非農業部門雇用者数は前月比＋20.6万人と、前月から伸びが鈍化したほか、4、5月の実績が下方修正された。また、失業率は2021年11月以来の高い水準となり、平均時給の伸びは鈍化した。米利下げ観測が強まり、欧米の国債利回りが低下し、米主要3指数が揃って上昇した。
- 米国でトランプ前大統領が13日の集会参加時に銃撃され、耳を負傷した。銃撃事件の影響により、11月の選挙でのトランプ氏および共和党への支持が強まるとの憶測が拡がり、減税によるインフレ圧力や財政悪化などが懸念され、15日の米国市場では、国債利回りが上昇した。また、トランプ氏の大統領返り咲きの思惑を背景に、財政政策への期待から景気敏感株、規制緩和期待からエネルギー株や金融株などが買われ、株式相場が続伸し、NYダウ工業株30種は約2ヵ月ぶりに最高値を更新した。
- 15日に中国で発表された4-6月期のGDPは前年同期比＋4.7%と、2023年1-3月期以来の低い伸びとなった。中国景気の先行き不透明感が拡がったことから、16日にかけて原油先物が下落した。
- 23日、イスラエルのネタニヤフ首相が週内にバイデン米大統領と会談する方向となり、イスラエルとイスラム組織ハマスとの停戦に向けた協議が進むとの憶測などから、原油先物が売られた。
- 31日、イスラム組織ハマスは、最高指導者が訪問先のイランでイスラエルによって暗殺されたと発表した。また、ハマスを支援するイランの最高指導者ハメネイ師が報復を宣言した。中東での地政学リスクの高まりなどを受け、原油先物が急騰した。

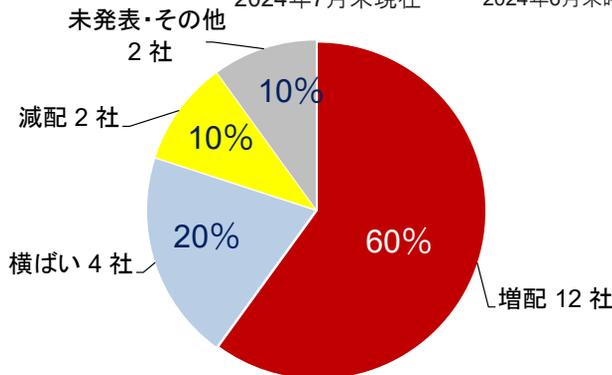
今後の注目点

- 2024年4-6月期のMLPの決算発表が注目される。

MLPの分配金動向

MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。7月から公表が始まっているMLPの2024年4-6月期の分配金は、指数構成銘柄(20銘柄、2024年6月末時点)のうち、**18社の発表が終了しており、前年同期比での増配が12社、横ばいが4社、減配が2社**となっています。

<S&P MLP 指数の構成銘柄*の分配金額(前年同期比)の動向>
2024年7月末現在 * 2024年6月末時点



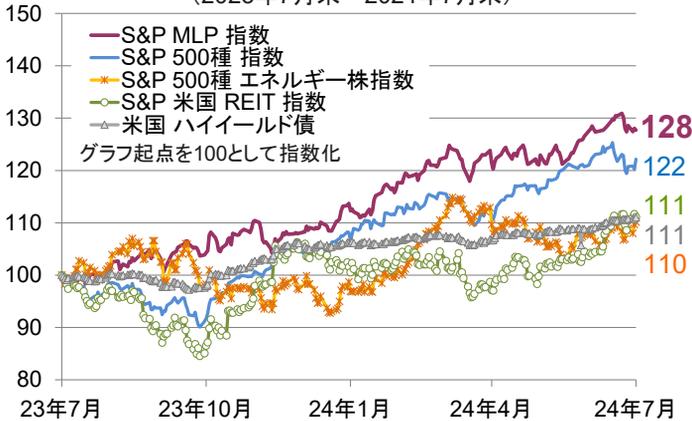
※ 左記の数値は四捨五入の関係で合計が100%とならないことがあります。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

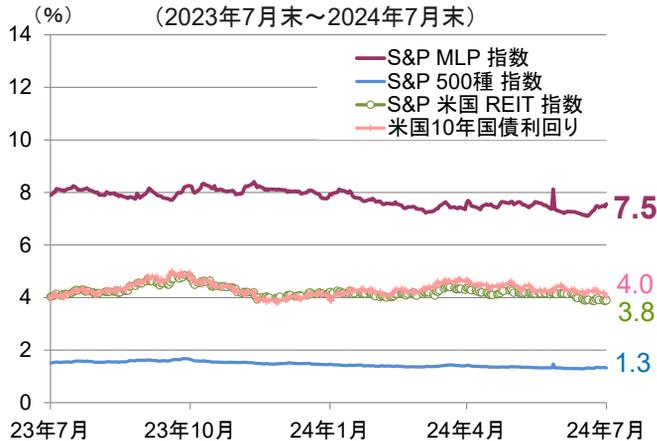
■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

(2023年7月末～2024年7月末)



■過去1年の各資産の利回り

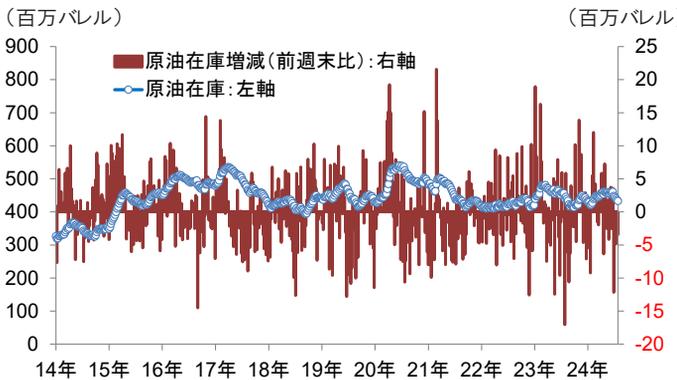
(2023年7月末～2024年7月末)



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
 ※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

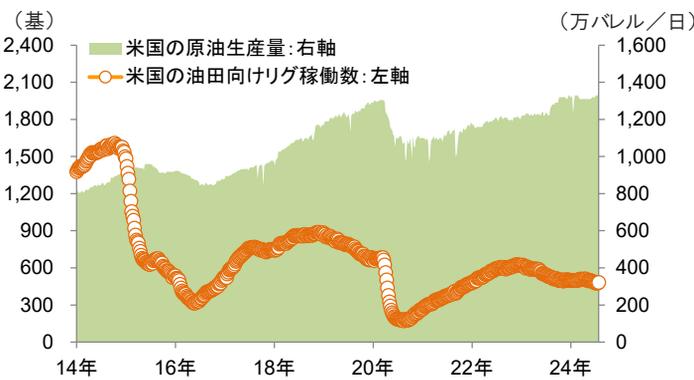
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2024年7月第4週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末～2024年7月第4週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2024年7月末)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)
 ※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。